



平成30年2月3日(土)

のしろまち灯り・冬 編

平成19年2月から始まった「のしろまち灯り・冬」は今年から新たに実行委員会を立ち上げ、新体制で運営しました。

今年も昨年同様に能代市役所のさくら庭と旧議事堂を会場として使用し、スギ灯りや子供たちがつくった灯ろうなど約600個を越える“灯り”が能代のまちを明るく照らしました。

午前中は天気が良く、「今年も天候に恵まれた！」と準備をしながら喜んでいましたが、午後になると何やら鈍色の雲が…。夕方になると、とうとう雨が降り出し、みぞれに変わり、どんどん寒くなっていきました。(さくら庭の会場に屋根があって本当に良かった…。)

しかし、会場では鶴形そばや常盤ときめき隊のピザなど、出店では身体が温まる食べ物がいっぱい。寒い中食べる温かい食べ物はより一層美味しく感じました。

今年は2月3日「節分の日」ということで、点灯式の前に豆まきイベントを開催。晴れていれば、さくら庭の屋根の上から豆菓子を投げる予定でしたが、あいにくの天気だったので、さくら庭の屋根の下で実施。しかし、子供たちは手に一杯の豆菓子をもって楽しそうに周りの人たちに投げて(配って)いました。

点灯式にも、雪の中、たくさんの子供たちが参加してくれ、あっという間にすべての灯りに火を灯すことができました。

旧議事堂では大仙市からかけつけた「夢灯りプロジェクト」の牛乳パックでつくった「夢灯り」の展示や、吹奏楽団の演奏などさまざまなイベントが開催され、終始にぎわいをみせていました。

今年も多くの人でにぎわい、たくさん灯りに包まれ、幻想的な雰囲気を堪能できました。能代が誇る冬のイベントとして、これからも地域に愛されるイベントになっていくことを願っています。

文:川村 綾



子供たちがつくった灯ろう



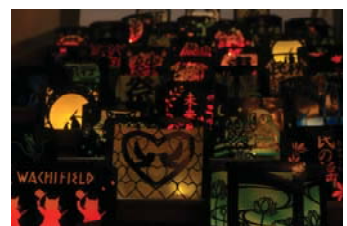
豆菓子を配る子供たち



雪の中、灯りとともす子供たち



吹奏楽団ファニークルーミニライブ



様々なデザインが魅力の夢灯り